区民アンケート調査案に対する意見一覧　　【資料５－１】

共通

No.	意見	対応
	アンケートの最後に、なぜ回答しようと思ったのかを尋ねる設問を追加してはどうか。インセンティブに興味を持ったからなのか、調査内容に関心があったからなのかを把握できると、今後の調査にも活用できる。	各調査の最後に設問を追加（こども向けNo.40、若者向けNo.35、保護者向けNo.40）。

こども向け

No.	意見	対応
15	「どんな居場所があるといいですか」ですが、日ごろ公園で遊んでいるこどもが雨の日に過ごすところがないように感じています。回答１の（屋内）はそれを意識しているのでしょうか。「雨の日でも過ごせる屋内施設」などわかりやすい選択肢だといいと感じます。	選択肢１を修正。
24	「地域で行われている活動」について、どんな活動をイメージするかが人によってまちまちだと思います。お祭り、イベント、サークル、ボランティア？などわかりやすくした方がいいように感じました。	設問文を修正。
26	「悩みや心配ごと」ですが、保護者向けアンケートの設問25と対比ができるような回答項目としてはどうでしょうか。保護者向けの選択肢には、「友人関係」がないことに違和感があります。	保護者向けNo.24及び25の回答結果と対比するため、選択肢12及び16を追加。 ※保護者向けNo.24に「こどもの友達関係」の選択肢を設けています。
28	「誰にも相談しない理由」について、子ども若者支援をしている経験から、相談しない理由（特に公的機関への相談をしない理由）に「自分が期待する結果とは違うほうに行ってしまうのではないか？」、「問題が大事になってしまい、人に知られてしまうのではないか？」との理由が少なくないと感じています。	選択肢８を追加。
32	「相談に行きやすくなるため」ですが、「秘密を絶対に守ってくれる」というのがあっていいように思います。	選択肢５を追加。
34	「住んでいるまち」の解釈が「大田区」なのか「圏域」なのかあいまいです。設問37は「大田区」なので、同様に「大田区」で聞いた方がすっきりする気がします。	設問文を修正。

若者向け

No.	意見	対応
9	「伸ばしたい能力」について、子ども若者支援をしている経験から、生活力（家事や整理整頓、決まった時間に行動する等）をつけたいニーズも少なくないと感じています。	選択肢９を追加。 ※その他、「調整力」「リーダーシップ」「将来のライフプランを考える力」も追加。
13	「今やりたいけれどできていないこと」について、「恋愛をしたい」という選択肢が無いのが気になりました。６友人、11結婚が比較的近い選択肢ですが、ズバリ「恋愛」をしたいかどうか？を聞いてみるのも個人的には良いかと思いました。	選択肢７を追加。
19	「地域で行われている活動」について、どんな活動をイメージするかが人によってまちまちだと思います。お祭り、イベント、サークル、ボランティア？などわかりやすくした方がいいように感じました。	設問文を修正。
27	「若者施策の認知度」について、「奨学金」が選択肢に入っていますが、この設問で聞いているのは、一般的な奨学金を知っているかという意図ではなく、「大田区の奨学金」制度を知っているか？という理解で合ってますでしょうか？その場合ですと、選択肢を単に「奨学金制度」ではなく、「大田区の奨学金制度」としたほうが良いと思います。	選択肢２を修正。
29	「相談に行きやすくなるため」ですが、「秘密を絶対に守ってくれる」というのがあっていいように思います。特に行政機関に相談すると、それが児相や学校に共有されるのではないかと懸念して相談できないという声を聞きます。	選択肢５を追加。
30	「住んでいるまち」の解釈が「大田区」なのか「圏域」なのかあいまいです。設問37は「大田区」なので、同様に「大田区」で聞いた方がすっきりする気がします。	設問文を修正。

保護者向け

No.	意見	対応
	設問外ですが、「保護者自身が抱えている困難」を確認する必要はありませんか？子育て以外の課題が、子育てや生活困窮に大きく影響するように感じます。「育児と仕事の両立」「親の介護」「経済的な側面」「家族関係」「夫婦関係」などが、子育ての満足度や充足度にどう影響するのか、クロス集計してみて頂けたらと感じました。	設問No.26を追加。
27	こども向け調査では相談相手の選択肢にAIや相談アプリが含まれているが、若者や保護者でもAIに相談する人が増えている。対人相談を利用しにくい人がAIに相談している可能性もあるため、保護者向け調査にもAIを選択肢として設け、利用状況を把握してはどうか。	選択肢８又は９を追加。

33	「若者施策の認知度」について、「奨学金」が選択肢に入っていますが、この設問で聞いているのは、一般的な奨学金を知っているかという意図ではなく、「大田区の奨学金」制度を知っているか？という理解で合ってますでしょうか？その場合ですと、選択肢を単に「奨学金制度」ではなく、「大田区の奨学金制度」としたほうが良いと思います。	高校生世代の選択肢３を修正。
33	「ファミリー・アテンダント事業」ですが、「見守り訪問」「ホームスタート・おおた」と認識している方が多いと思われます。記載を検討頂けると幸いです。（事業に関わっているので細かくてすみません）	乳幼児期の選択肢８を修正。
	設問35（必要な子育て情報は届いてますか）に関連し、どういった方法で情報を入手しているかを聞いてはどうでしょうか。今後の施策展開において、必要な人に必要な情報が届くために広報手段を検討することが重要と考えます。（若い方は、大田区報より大田区公式LINEの方が、情報が届くような気がしています）	設問No.36を追加。
37	「地域で行われている活動」について、どんな活動をイメージするかが人によってまちまちだと思います。お祭り、イベント、サークル、ボランティア？などわかりやすくした方がいいように感じました。	設問文を修正。